

# 記者懇談会・社長会見

大日本住友製薬株式会社  
代表取締役社長 多田 正世  
2011年8月4日

# 経営成績

金額単位:億円

	10年度1Q	11年度1Q	前年同期比		
			増減額	増減率	
売上高	1,018	<b>948</b>	△ 70	△ 6.9 %	
売上原価	326	<b>258</b>	△ 68	△ 20.9 %	
売上総利益	692	<b>690</b>	△ 2	△ 0.2 %	
販売費及び 一般管理費	544	<b>562</b>	18	3.4 %	
	販売費・一般管理費	399	<b>426</b>	27	6.8 %
	研究開発費	145	<b>136</b>	△ 9	△ 6.0 %
営業利益	148	<b>128</b>	△ 20	△ 13.5 %	
経常利益	148	<b>132</b>	△ 17	△ 11.3 %	
四半期純利益	93	<b>81</b>	△ 12	△ 12.8 %	

(注)1.記載金額は億円未満を四捨五入しております。

2.売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

# セグメント別売上高

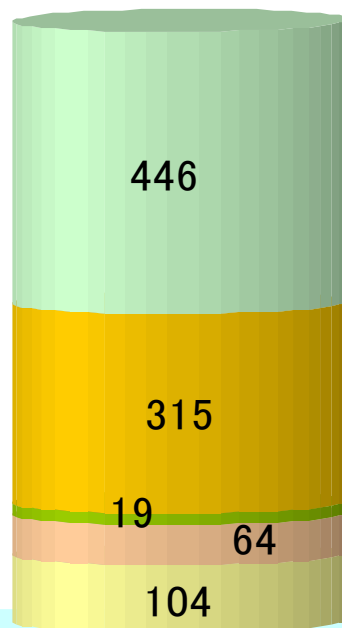
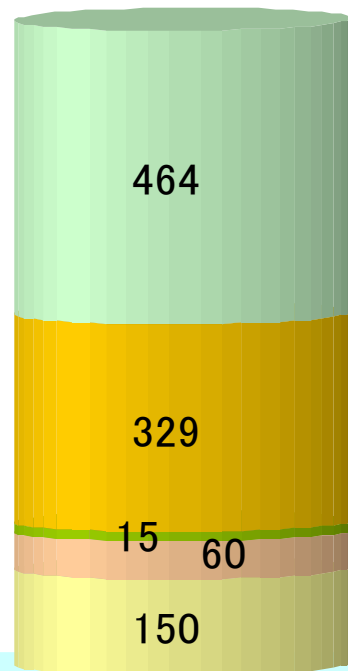
金額単位：億円

10年度1Q  
1,018

11年度1Q  
948

増減額  
△ 70

増減率  
△ 6.9%



日本 △ 19 △ 4.1%

北米 △ 14 △ 4.2%

中国 4 24.7%

海外その他 4 6.9%

その他 △ 45 △ 30.2%

海外売上高比率 39.8 %

42.2 %

## 【北米】

・現地通貨ベースでは増加したものの円高の影響を受け減収

## 【その他事業】

・ペットフードの売上計上額を手数料相当部分のみとしたため減収(当第1四半期まで)

# 日本セグメントの売上高

金額単位：億円

	10年度1Q	11年度1Q	前年同期比		11年度2Q(5/11公表)	
			増減額	増減率	売上予想	進捗率
アバプロ	18	23	6	31.5 %	55	41.9 %
ロナセン	22	24	2	8.3 %	61	39.3 %
プロレナール	37	39	1	3.5 %	83	46.6 %
戦略品 計	77	86	9	11.3 %	199	43.1 %
トレリーフ	8	12	4	58.6 %	22	55.0 %
ミリプラ	4	3	△ 0	△ 7.0 %	8	43.5 %
シュアポスト	—	1	1	—	1	54.7 %
メトグルコ(メルビン含)	11	16	5	42.7 %	25	64.8 %
新製品 計	23	32	10	42.3 %	56	57.7 %
アムロジン	109	92	△ 17	△ 15.4 %	163	56.5 %
ガスモチン	51	52	0	0.7 %	103	50.3 %
メロペン	33	30	△ 3	△ 9.3 %	54	55.9 %
アムビゾーム	11	10	△ 1	△ 4.6 %	24	43.3 %
リプレガル	11	21	10	89.3 %	36	58.4 %
その他	149	122	△ 27	△ 18.2 %	249	49.0 %
日本セグメント	464	446	△ 19	△ 4.1 %	884	50.4 %

(注) 品目別の売上高は、国内売上高をリベート控除前で記載しております。

# 北米・中国セグメントの売上高

金額単位: 億円  
(カッコ内の数字はM\$)

	10年度1Q		11年度1Q		前年同期比		
					増減額	増減率	
ラツータ	—		(35)	29	(35)	29	—
ルネスタ	(161)	146	(124)	102	(△ 37)	△ 44	△ 30.2 %
ゾペネックス	(127)	115	(137)	113	(10)	△ 3	△ 2.2 %
ブロバナ	(25)	23	(33)	28	(8)	5	19.6 %
オムナリス	(11)	10	(16)	13	(5)	3	26.9 %
工業所有権収入	(25)	22	(25)	21	(1)	△ 1	△ 6.3 %
その他	(14)	12	(15)	11	(2)	△ 2	△ 13.9 %
<b>北米セグメント</b>	<b>(363)</b>	<b>329</b>	<b>(385)</b>	<b>315</b>	<b>(22)</b>	<b>△ 14</b>	<b>△ 4.2 %</b>
メロペン		12		16		4	33.4 %
その他		3		2		△ 0	△ 13.7 %
<b>中国セグメント</b>		<b>15</b>		<b>19</b>		<b>4</b>	<b>24.7 %</b>

11年度2Q (5/11公表)		
売上予想	進捗率	
(47)	40	71.5 %
(280)	238	42.7 %
(194)	165	68.2 %
(61)	52	52.9 %
(38)	32	41.2 %
(27)	23	90.6 %
(32)	27	39.5 %
<b>(679)</b>	<b>577</b>	<b>54.6 %</b>
	30	54.6 %
	6	40.4 %
	<b>36</b>	<b>52.2 %</b>

# 2011年業績予想

金額単位：億円

	2010年度 通期実績	2011年度 2Q予想	2011年度 通期予想
売上高	3,795	1,797	3,620
売上原価	1,100	501	1,038
売上総利益	2,695	1,296	2,582
販売費及び 一般管理費	2,385	1,207	2,412
販売費・一般管理費	1,704	901	1,792
研究開発費	682	306	620
営業利益	310	89	170
経常利益	286	84	155
四半期純利益	168	48	85

2011年度業績予想は、本年5月に公表した数値を変更しておりません。

# 臨床開発の現況① (2011年7月29日現在)

## 精神神経領域

■ 国内 ■ 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
ラツーダ (SM-13496)	ルラシドン塩酸塩	統合失調症	カナダ				
		(上限用量変更)統合失調症:1日160mg	米国				
		統合失調症	日本				
		(新効能)双極性障害うつ	米国・欧州等				
		(新効能)大うつ(混合症状)	米国				
ステデサ	エスリカルパゼピン塩酸塩	てんかん(併用)	米国				
		てんかん(成人単剤)	米国				
DSP-8658	未定	アルツハイマー病	米国				
SEP-228432	未定	神経因性疼痛、うつ病	米国				
DSP-1053	未定	うつ病	米国				

ラツーダ(SM-13496):欧州は武田薬品との共同開発実施中(第Ⅲ相試験段階:統合失調症、双極性障害)

## 循環器・糖尿病領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第Ⅰ相	第Ⅱ相	第Ⅲ相	申請中
シュアポスト	レパグリニド	(新効能)2型糖尿病:TZD剤、BG剤併用	日本				
メトグルコ	メトホルミン塩酸塩	(小児用量追加)2型糖尿病	日本				
AS-3201	ラニレストット	糖尿病合併症	日本				※
DSP-8153	アムロジピンベシル塩酸塩 イルベサルタン	高血圧症/配合剤	日本				
DSP-8658	未定	2型糖尿病	米国				

今回変更部分は赤字で示しています

※は準備中

# 臨床開発の現況② (2011年7月29日現在)

## 呼吸器領域

国内 海外

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第I相	第II相	第III相	申請中
シクレソニドHFA Nasal Aerosol	シクレソニド	(新剤形)アレルギー性鼻炎	米国				
DSP-3025	未定	気管支喘息、アレルギー性鼻炎	日本				

## がん領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第I相	第II相	第III相	申請中
カルセド(国内販売名)	アムルビシン塩酸塩	小細胞肺がん	中国				
WT4869	未定	骨髄異形成症候群	日本		※		
		固形がん	日本				

※第I/II相の第I相段階

## その他の領域

製品／コード名	一般名	予定適応症等	開発地域	第I相	第II相	第III相	申請中
SMP-986	afacifenacin	過活動膀胱	日本				
			米国・欧州				
プロレナール	リマプロストアルファデクス	(新効能)手根管症候群	日本				
DSP-6952	未定	便秘型IBS、慢性便秘	日本				
DSP-1747	obeticholic acid	原発性胆汁性肝硬変(PBC)、 非アルコール性脂肪肝炎(NASH)	日本		※		
DSP-5990	セフトロリン・フォサミル	MRSA感染症	日本		※		

※は準備中

新規掲載品

今回変更部分は赤字で示しています



# オンコロジーへの取組み①

## これまでの実績

### マーケティング

[ 日本 ]

- ・スミフェロン(1987年発売、販売中)
- ・カルセド(2002年発売、日本化薬に販売移管)
- ・ミリプラ(2010年発売、販売中)

### 開発

[ 日本 ]

- ・WT4869(MDS:Ph1/2、固形がん:Ph1開発中)

[ 中国 ]

- ・カルセド(Ph3開発中)
- ・ミリプラ(本年治験届けを提出予定)

### 研究

- ・チャレンジ領域として、オンコロジーを含むスペシャリティ領域に注力
- ・抗がん剤へは、低分子に加え、タンパク、ペプチド、抗体、核酸といったバイオ医薬からのアプローチも進行中

### 提携・導入

- ・京都大学との協働研究(DSKプロジェクト)を推進中
- ・米国BBI社\*から、がん幹細胞を標的とする化合物「BBI608」導入のオプション契約締結(日本:オプション権、北米:独占交渉権)

\*ボストンバイオメディカル社

# オンコロジーへの取組み②

## オンコロジーへの注力理由

---

- がん治療薬への挑戦は研究開発型製薬企業の使命(がんは死因の1位)
- アンメット・メディカル・ニーズが極めて高い
- マーケットが急速に成長している
- サイエンスの進歩が急速で、新たなブレイクスルーが期待できる
- 専門医中心の領域であり、少数のMRで対応できる
- がん分野の事業基盤がある(特にR&D)

## オンコロジー事業推進室の新設(2011年6月24日)

---

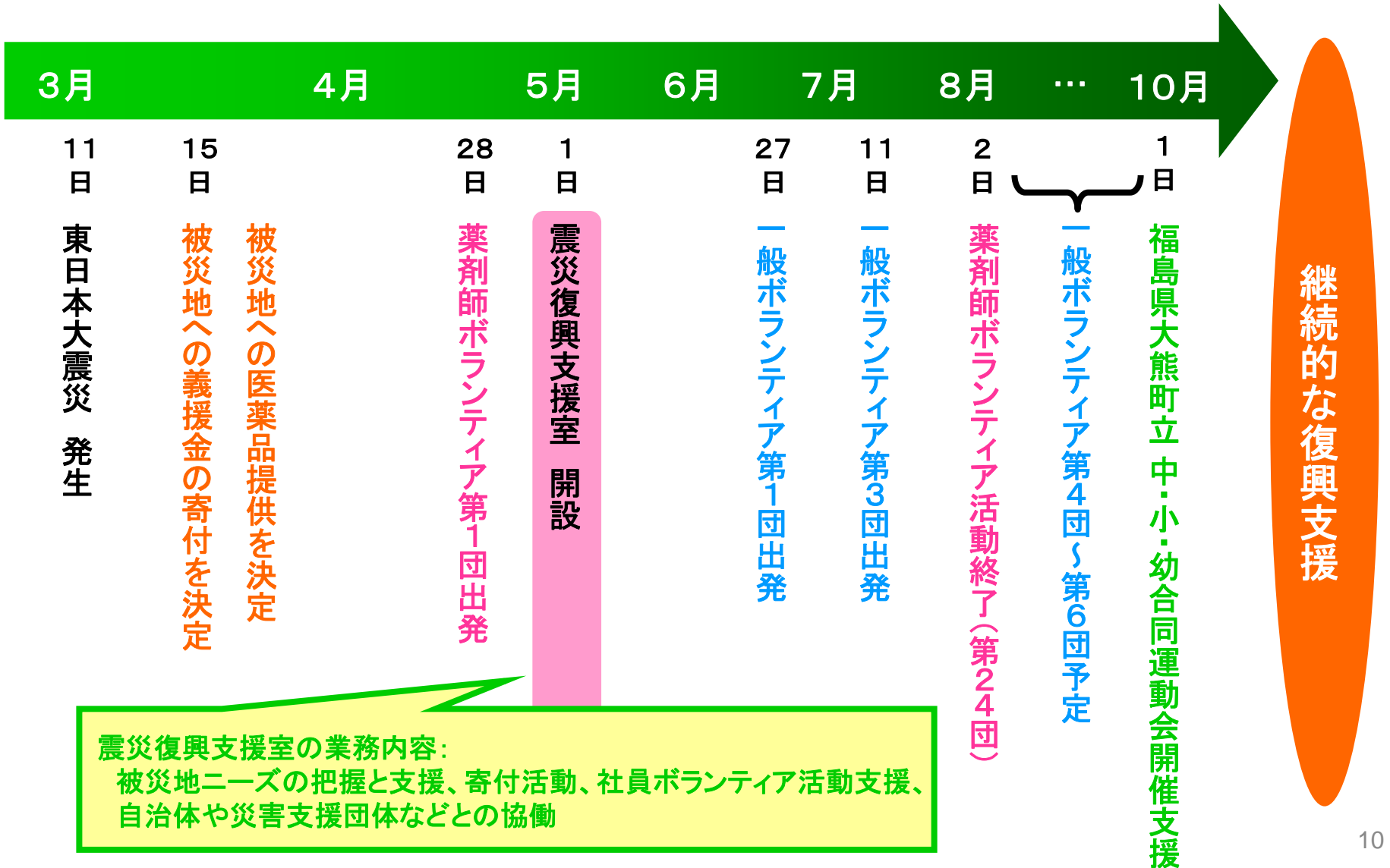
- オンコロジー領域におけるグローバルな事業戦略を策定・実行
- グローバルな研究開発体制を構築



米国での事業確立へ

# 震災復興支援への取組み①

被災地への長期的な支援を目指して



# 震災復興支援への取組み②

## 具体的な取組み

### ■薬剤師ボランティア

- ・ 約200名が応募→3名1組で宮城県にて活動(24団72名) ※8月2日で終了
- ・ 宮城県薬剤師会の被災地支援活動のサポート  
(OTCの仕分け、物資の運搬、一般薬剤師ボランティアの活動調整補助、業務全般補佐 など)

### ■一般ボランティア

- ・ 約150名が応募→岩手県にて活動(現在までに3団40名) ※第6団まで計画
- ・ 道路側溝の泥出し、がれきの撤去、施設清掃 など

### ■その他

- ・ 業務用殺虫剤メーカー  
(住化グループ)と連携、害虫対策を支援

### ■今後の活動

- ・ 学校スマイル応援プロジェクト  
「運動会サポートキャラバン2011」への参画



被災地のニーズに合わせた復興支援を展開